

ディスカバー

農山漁村の家



令和2年度

農山漁村活性化事例集



令和3年3月
九州農政局農村振興部農村計画課

はじめに

農林水産省では、「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」として農山漁村活性化の優良事例を選定し全国に発信しています。

第7回目となる令和2年度については、以下の部門に分けて募集・選定が行われました。

①団体向け

○コミュニティ部門（関係者の連携による活動で地域に活力をもたらす取組等）

○ビジネス部門（事業化を通じて所得向上や雇用を生み出す取組等）

②個人向け（個人部門）

地域でリーダー的な活躍をしておられる方の取組

その結果、令和2年11月4日に全国で28団体（うち九州から2団体）及び4名が「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」として選定されました。

また、九州農政局管内には数多くの優良な取組があることから、九州から応募のあった52団体及び5個人の中から、令和2年11月5日に九州農政局「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」として、5団体及び2個人を選定しました。

これらの団体を含め応募いただいた団体・個人においては、

①美しく伝統ある農山漁村の次世代への継承

②幅広い分野・地域との連携による農林水産業・農山漁村の再生

③国内外の新たな需要に即した農林水産業の実現

に向けた取組が展開されており、農山漁村の活性化に向け、他の地域の取組の参考となるものです。

このため、九州から応募のあった52団体及び5個人の取組について、このほど「農山漁村活性化事例集（R2）」としてとりまとめ、公表することとしました。

九州の各地域において、この事例集も参考にして頂き、地域活性化、所得向上への取組が広まり、加速化していくことを期待します。

※巻末にこれまでの「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」選定地区の一覧を掲載していますので、ご参照ください。

九州農政局 農山漁村活性化事例集(R2)目次①

県	No.	市町村	部門	団体名	キャッチフレーズ
福岡県	1	北九州市	C	箸休め ゆず香	おしゃれなユズのコンフィ、箸休めゆず香
	2	大川市	C	協同組合福岡・大川家具工業会 地域材開発委員会	山の元気は地域の元気！センダンで未来を築く
	3	宮若市	B	有限会社 アルファー	地域素材を使った商品でネット販売の強化！
	4	みやま市	C	伍位軒集落協定 ⑩	集落みんなで守る「みかんの里」
	5	みやま市	C	ルフラン(旧山川南部小学校)	循環型社会を体現する地域憩いの施設
	6	糸島市	C	株式会社いとしのいとしま ★	地魚BANKでうまい魚をこれからもずっと！
	7	大木町	C	有限会社小林きのこ産業	守ろう×大莞(おおい)の宝×子供たちにつなげ
	8	筑前町	B	(株)筑前町ファーマーズマーケットみなみの里 ②	食で筑前町を発信！&食べて応援！
佐賀県	9	伊万里市	C	NPO法人伊万里はちがめプラン ①	生ごみを宝に、食資源循環によるまちづくり
	10	鹿島市	C	多良岳オレンジ海道を活かす会	多良岳オレンジ海道を活かした農村の再興
	11	小城市	B	いやしの宿ほのか	神々の棲む隠れ里を人々の集まる桃源郷に
	12	有田町	C	岳の棚田環境保全協議会	地域の宝、棚田の資源を次世代に繋ぐ！
	13	佐賀市	K	池田 大志氏 ②	地域資源を活かし農業を「農産業」へ
長崎県	14	長崎市	C	現川里山保全の会	里山保全活動で地域コミュニティを活性化
	15	平戸市	C	田平地域農業活性化協議会	農業、担い手、農地利活用の面からの活性化
	16	諫早市	C	長崎県立諫早農業高等学校 食品科学部 ②	長崎県農産物を用いた地域活性プロジェクト
	17	大村市	C	株式会社 ふれあいファーム	「安心・安全」「つながる農業と福祉」
	18	松浦市	B	一般社団法人まつうら党交流公社 ①	松浦党の里 ほんなもん体験
	19	西海市	C	特定非営利活動法人 雪浦あんばんね ①	雪浦ウィークから雪浦マンス&イヤーへ
熊本県	20	熊本市	C	天明環境保全隊	守り伝えよう環境と文化～地域、学校、福祉の連携～
	21	人吉市	B	郷土の家庭料理 ひまわり亭 ★	“食”でまちづくり・人づくり・元気づくり!!
	22	上天草市	B	有限会社むらた活魚	「身欠き加工フグ」の開発と新規市場開拓
	23	阿蘇市	C	草原再生オペレーター組合	阿蘇の草原をずっと未来へ
	24	阿蘇市	C	阿蘇地域林業担い手対策協議会	阿蘇地域の林業担い手対策の取り組み
	25	合志市	B	NPO法人 あじ菜工房	菊芋の6次産業化で農福連携
	26	大津町	C	真木地区協議会	高齢者が安心して暮らせる農村集落の創生
	27	小国町	B	小国町森林組合	小国杉と地域がもたらすやる気、元気、勇気
	28	高森町	C	一般社団法人 sol 森のようちえんおてんとさん	フルキハアタラシキ～人が繋がりが育つ場創り
	29	山都町	C	蘇陽農場 ②	女性が創る農福連携！多様な雇用で笑顔一杯
	30	山都町	C	株式会社 山都でしか	山都でしかできないワクワクを！
	31	多良木町	C	たらぎビジネスデザイン協議会	子どもをまんやかに地域をつなぐ
	32	山江村	C	山江村地域活性化協議会	学校給食地産地消推進で地域農業振興
	33	あさぎり町	C	社会福祉法人東陽会 りゅうきんか	「アグリハ」～農業×リハビリの創作力！～
	34	山鹿市	K	宮崎 久美子氏	菊池川流域の恵みの食で人と地域の元気創造
	35	高森町	K	中山 千春氏	フルキハアタラシキ～子供達へ繋ぐ農村の宝
	36	南阿蘇村	K	廣林 花音氏	休学せずに農村留学！？
大分県	37	佐伯市	C	進水式を推進する会	造船会社が3社、進水式の回数は負けない！
	38	竹田市	C	丸山生活改善センター運営委員会	限界集落の小さな挑戦 合宿による地域づくり
	39	宇佐市	C	深見地区まちづくり協議会 ②	地域の未来 地域で考え 地域で行動
	40	国東市	B	くにさき七島蘭振興会 ⑭	貧乏草を青いダイヤに 国東の新たな挑戦
宮崎県	41	都城市	B	有限会社 徳重紅梅園	伝統農業と加工を後世に伝える
	42	延岡市	C	延岡ふるさとツーリズム協議会	農泊事業によるインバウンド誘致
	43	綾町	C	綾結び学アーカイブス	綾町の自然共生理念を世界へ
	44	綾町	B	合同会社香月ワインズ	手作りナチュラルワインの参加型ワイナリー
	45	西米良村	B	村所女性部いとまき倶楽部	「生涯現役・元気村」の女性グループ
	46	西米良村	C	おがわ作小屋村運営協議会	令和の桃源郷 小さな村の大きな挑戦
	47	西米良村	B	株式会社米良資源開発	山の恵み「西米良ジビエ」
	48	椎葉村	C	焼畑蕎麦苦楽部 ②	山は友達・命の源 ～続けることが力～

県	No.	市町村	部門	団体名	キャッチフレーズ
鹿児島県	49	出水市	C	いずみ民泊体験推進協議会 ⑳	豊かな自然と深い歴史の中の田舎暮らし体験
	50	指宿市	C	いぶすきの農漁村力協働推進協議会	農魚山村資源の再発掘と「田舎力」の強化
	51	西之表市	C	一般社団法人ヤクタネゴヨウ保全の会	希少種ヤクタネゴヨウと松を保全しその伝統と文化を広げる
	52	西之表市	B	種子島沖ヶ浜田黒糖生産協同組合	種子島の登窯伝統製法の黒糖を世界に紹介
	53	日置市	C	花田地区水土里クラブ	みんなで守ろう花田地区
	54	曾於市	B	たからべ森の学校	「学校はみんなのもの」 -元中学校を利用した民間企業による地域活性化事業-
	55	南大隅町	C	特定非営利活動法人 風と土の学び舎	地域を耕し、地元の人と若者が協働する町へ
	56	肝付町	B	村商株式会社 ㉑	地域の絆と食の架け橋を世界へ
	57	南九州市	K	瀬川 知香氏 ㉒	農業・宿泊業・観光業 田舎の暮らしを体感できる暮らし旅行社。

※①: 部門欄の「C」はコミュニティ部門、「B」はビジネス部門、「K」は個人部門。

※②: 団体名欄の「★」は「ディスカバーむらの宝(第7回)」に選定、「㉒、㉑、㉓、㉔、㉕」はそれぞれH28年、H29年、H30年、R1年、R2年の「九州農政局ディスカバーむらの宝」に選定。

九州農政局 農山漁村活性化事例集(R2)目次②

県	No.	市町村	部門	団体名	該当カテゴリー		
福岡県	1	北九州市	C	箸休め ゆず香	環境保全・景観保全	伝統の継承	6次産業化
	2	大川市	C	協同組合福岡・大川家具工業会 地域材開発委員会	農林漁業・農村文化体験	企業との連携	教育機関との連携
	3	宮若市	B	有限会社 アルファー	環境保全・景観保全	企業との連携	高齢者の活躍
	4	みやま市	C	伍位軒集落協定 ⑩	鳥獣被害防止	移住・定住	その他(中山間直払を活用)
	5	みやま市	C	ルフラン(旧山川南部小学校)	環境保全・景観保全	食育・教育	6次産業化
	6	糸島市	C	株式会社いとしのいとしま ★	農泊	農林漁業・農村文化体験	食育・教育
	7	大木町	C	有限会社小林きのこ産業	環境保全・景観保全	6次産業化	
	8	筑前町	B	(株)筑前町ファーマーズマーケットみなみの里 ②	食育・教育	高齢者の活躍	伝統の継承
佐賀県	9	伊万里市	C	NPO法人伊万里はちがめプラン ①	環境保全・景観保全	食育・教育	企業との連携
	10	鹿島市	C	多良岳オレンジ海道を活かす会	6次産業化	環境保全・景観保全	農林漁業・農村文化体験
	11	小城市	B	いやしの宿ほのか	農泊		
	12	有田町	C	岳の棚田環境保全協議会	環境保全・景観保全	農林漁業・農村文化体験	6次産業化
	13	佐賀市	K	池田 大志氏 ②	6次産業化	輸出	企業との連携
長崎県	14	長崎市	C	現川里山保全の会	農林漁業・農村文化体験	環境保全・景観保全	教育機関との連携
	15	平戸市	C	田平地域農業活性化協議会	その他(農業労力支援)		
	16	諫早市	C	長崎県立諫早農業高等学校 食品科学部 ②	6次産業化	企業との連携	伝統の継承
	17	大村市	C	株式会社 ふれあいファーム	6次産業化	農福連携	高齢者の活躍
	18	松浦市	B	一般社団法人まつうら党交流公社 ①	農泊	農林漁業・農村文化体験	
	19	西海市	C	特定非営利活動法人 雪浦あんばんね ①	農泊	農林漁業・農村文化体験	移住・定住
熊本県	20	熊本市	C	天明環境保全隊	環境保全・景観保全	農林漁業・農村文化体験	食育・教育
	21	人吉市	B	郷土の家庭料理 ひまわり亭 ★	6次産業化	農泊	復興
	22	上天草市	B	有限会社むらた活魚	6次産業化	企業との連携	その他(地域雇用の拡大と地元養殖業活性化への貢献)
	23	阿蘇市	C	草原再生オペレーター組合	環境保全・景観保全	雇用	その他(地域資源を生かした有機・減農薬の取り組み)
	24	阿蘇市	C	阿蘇地域林業担い手対策協議会	農林漁業・農村文化体験	雇用	移住・定住
	25	合志市	B	NPO法人 あじ菜工房	6次産業化	農福連携	
	26	大津町	C	真木地区協議会	農林漁業・農村文化体験	環境保全・景観保全	高齢者の活躍
	27	小国町	B	小国町森林組合	環境保全・景観保全	農林漁業・農村文化体験	6次産業化
	28	高森町	C	一般社団法人 sol 森のようちえんおてんとさん	伝統の継承	食育・教育	農福連携
	29	山都町	C	蘇陽農場 ②	雇用	復興	農福連携
	30	山都町	C	株式会社 山都でしか	農泊	農林漁業・農村文化体験	企業との連携
	31	多良木町	C	たらぎビジネスデザイン協議会	農林漁業・農村文化体験	食育・教育	移住・定住
	32	山江村	C	山江村地域活性化協議会	食育・教育	その他(地産地消の推進)	
	33	あさぎり町	C	社会福祉法人東陽会 りゅうきんか	農福連携	6次産業化	高齢者の活躍
	34	山鹿市	K	宮崎 久美子氏	食育・教育	伝統の継承	教育機関との連携
	35	高森町	K	中山 千春氏	伝統の継承	食育・教育	
36	南阿蘇村	K	廣林 花音氏	農林漁業・農村文化体験	教育機関との連携	伝統の継承	
大分県	37	佐伯市	C	進水式を推進する会	企業との連携	雇用	
	38	竹田市	C	丸山生活改善センター運営委員会	環境保全・景観保全	食育・教育	教育機関との連携
	39	宇佐市	C	深見地区まちづくり協議会	環境保全・景観保全	伝統の継承	その他(少子高齢化対策)
	40	国東市	B	くにさき七島蘭振興会 ⑳	伝統の継承	企業との連携	その他(地域産業の再生による過疎地再生)
宮崎県	41	都城市	B	有限会社 徳重紅梅園	環境保全・景観保全	伝統の継承	6次産業化
	42	延岡市	C	延岡ふるさとツーリズム協議会	農泊	若者・学生の活躍	その他(インバウンド)
	43	綾町	C	綾結い学アーカイブス	農林漁業・農村文化体験	環境保全・景観保全	食育・教育
	44	綾町	B	合同会社香月ワインズ	6次産業化	教育機関との連携	若者・学生の活躍
	45	西米良村	B	村所女性部いとまき倶楽部	雇用	6次産業化	高齢者の活躍
	46	西米良村	C	おがわ作小屋村運営協議会	農林漁業・農村文化体験	伝統の継承	
	47	西米良村	B	株式会社米良資源開発	鳥獣被害防止	ジビエ	雇用
	48	椎葉村	C	焼畑蕎麦苦楽部	農林漁業・農村文化体験	伝統の継承	移住・定住

県	No.	市町村	部門	団体名	該当カテゴリー		
鹿児島県	49	出水市	C	いずみ民泊体験推進協議会 ⑳	農泊	その他(インバウンド)	
	50	指宿市	C	いぶすきの農漁村力協働推進協議会	農林漁業、農村文化体験		
	51	西之表市	C	一般社団法人ヤクタネゴヨウ保全の会	鳥獣被害防止	環境保全・景観保全	食育・教育
	52	西之表市	B	種子島沖ヶ浜田黒糖生産協同組合	6次産業化	伝統の継承	雇用
	53	日置市	C	花田地区水土里クラブ	伝統の継承	環境保全・景観保全	教育機関との連携
	54	曾於市	B	たからべ森の学校	農林漁業、農村文化体験	ジビエ	伝統の継承
	55	南大隅町	C	特定非営利活動法人 風と土の学び舎	農林漁業、農村文化体験	移住・定住	若者・学生の活躍
	56	肝付町	B	村商株式会社 ①	6次産業化	輸出	農福連携
	57	南九州市	K	瀬川 知香氏	農泊	農林漁業、農村文化体験	6次産業化

※①: 部門欄の「C」はコミュニティ部門、「B」はビジネス部門、「K」は個人部門。

※②: 団体名欄の「★」は「ディスカバーむらの宝(第7回)」に選定、「㉘、㉙、㉚、①、②」はそれぞれH28年、H29年、H30年、R1年、R2年の「九州農政局ディスカバーむらの宝」に選定。

福岡県

はしやすめ か 箸休め ゆず香

おしゃれなユズのコンフィ、箸休めゆず香



“箸休め ゆず香”3種、ビター・ミディアム・マイルド



地元焼酎に合わせた
箸休め ゆず香“



ブルーチーズなどに
付けオードブルに



JR小倉駅コンコースの売り場



モンベルの商品ページ
に掲載された製造工程



モーニングセットで使用されるゆず香

取組概要

- ユズ収穫による地域興しと里山の整備を期待し、地元で食べ継がれてきたマーマレード風なユズのおつまみを「箸休め ゆず香」と名付けH24年に商品化。
- 日本で唯一の加工品のため、食べ方やいわれを示した和英併記の葉も付け、海外からの訪問者にも対応。
- 平尾台自然の郷、合馬農産物直売所などのほか、JR新幹線小倉駅コンコースや北九州空港等でも販売。R元年は約1300個を販売。

活動成果

- 高級なお土産や贈答品として、地元有名店や近郊の駅・空港での販売が定着し、地域の観光振興に貢献。
- 北九州空港の喫茶店に業務用として納入が実現。モーニングセットのヨーグルトへのトッピングとして使用され、好評を得ており、納入量の拡大が求められている。更にアウトドアメーカーのフレンドショップに登録でき、町おこしに貢献。
- 農家からは傷のあるユズも高値で買い取ってもらえると喜ばれている。

箸休め ゆず香

福岡県北九州市小倉南区志井鷹羽台25-6

<https://ja-jp.facebook.com/tora.saburou>

Tel : 093-961-5273 Fax : 同左

おおかわ

協同組合福岡・大川家具工業会 地域材開発委員会

山の元気は地域の元気！ センダンで未来を築く



第1回八女市早生樹センダン植林活動



取組概要

- 早生広葉樹のセンダンは樹齢15～20年で末口径30cm～50cmの直材になり、家具材として利活用することで循環型ビジネスのチャンスと十分なりえる。
- このため、H29年にセンダンを使った家具の商品開発を行い、「住まいの博覧会」(福岡市)、「ふるさと建材見本市」(東京都)へ出品。
- 併せて、センダンの植林活動を実施。H30年から毎年、植樹祭を7市町村で保育園児や幼稚園児と行っている。

活動成果

- 植林活動の参加者は住宅供給者や消費者とその子供達であり、H30年度130人、R元年度250人、R2年は200人を予定。参加した子供達が成人となる15～20年後に家具に加工し、両親、幼稚園や小学校へ贈る取組みであり、木や緑の大切さを改めて実感して頂いている。
- 住宅供給者にはセンダンの持つ木肌と色合いの美しさ、耐久性や強度などの魅力に触れて頂き、センダンの家具の取り扱いを始めて頂いている。

有限会社 アルファー

地域素材を使った商品でネット販売の強化！



竹ちまき



高齢者による竹の加工、1本1本手作業



地元野菜を中心に使用したスープ

取組概要

- 放置竹林の有効活用を目的に取組に着手。青竹を活用し、おこわを詰めて蒸すと、香りも爽やかで見た目も良かったことから、「竹ちまき」として商品化。ちまき専門店「竹千寿」を立ち上げ。
- 器の加工は、高齢者の従業員が行っている。一つ一つ丁寧な作業で竹ちまきの販売当初から、ながく貢献。
- 地元漁協とタイアップし、玄界灘で水揚げされた穴子などを用いた炊き込みご飯の素等の商品を開発販売。

活動成果

- 現在30か所ほどの竹林を確保し、定期的に伐採を行っており、農産物への影響・崖崩れ等の竹害対策となっている。
- 竹の器加工や厨房内での製造に従事する高齢者は、品質に対するこだわりや志も高く、若い人を引っ張っている。
- 地元漁協との連携のほか、地元農業者と連携し、ブロッコリー、カボチャ、完熟トマトを用いたスープ事業を立ち上げるなど地場農水産物の消費拡大に貢献。通信販売やお取り寄せを中心に展開。

ご い の き
伍位軒集落協定

集落みんなで守る「みかんの里」



道路の生コン舗装作業



伍位軒集落の園地



高品質ミカンの栽培

取組概要

- パワーショベルの共同利用による園地整備、中山間直接支払交付金を活用した園内道等を自主施工。さらに、道路の生コン舗装を実施。
- 本集落で発見された優良品種「北原早生」の生産の拡大。「シートマルチ栽培」による高品質ミカンの生産を推進。
- 鳥獣被害防止のため、中山間地域等直接支払交付金を活用し、H30年に箱わなを設置。農業者4名が狩猟免許を取得し、イノシシの捕獲に取り組む。

活動成果

- SSや軽トラックの園内乗入れが可能となり、栽培・管理作業の省力化が進み、経営規模が拡大。「北原早生」、「シートマルチ栽培」(被覆率80%)の導入による高品質ミカンの生産により、高値で取引され、山川みかん全体の販売額もH26年の13.5億円からH29年には14.2億円に増加。
- ミカン農家の経営基盤が強化され、農家所得が向上。H22年以降、集落に4名がUターン就農。子供の数も増え、集落全体が活性化。

ルフラン(旧山川南部小学校)

循環型社会を体現する地域憩いの施設



オープニングイベント ルフランマルシェ

日替わりカフェの様子

開発販売されたドレッシング

取組概要

- H30年に廃校になった旧山川南部小学校グラウンドにバイオマスセンターが建設され、市の生ごみから電気と液肥をつくり、市の農家に利用してもらう資源循環が実現。
- 廃校の教室を利用し、液肥で育った農作物を活用できる食品加工室、カフェと地域就業の場としてのシェアオフィスをつくり、ルフランとしてオープン。
- マルシェや料理教室、子供対象イベント等、様々なイベントが一年を通して開催されている。

活動成果

- 食品加工室とカフェの利用にあたり、ルフラン食品加工組合を結成。食品加工の実践研修会や「食品アレルギー講座」を開催。一般の市民も参加可能とし、毎回10～20名の参加があった。
- カフェやイベントには、市外からも多くの人が来て、賑わいを見せている。
- R元年8月に夏休み自由研究顕微鏡観察イベントを開催し、観察結果を提出した小学生が、久留米市理科教育センター主催・理科作品展の優秀賞を受賞。

株式会社いとしのいとしま

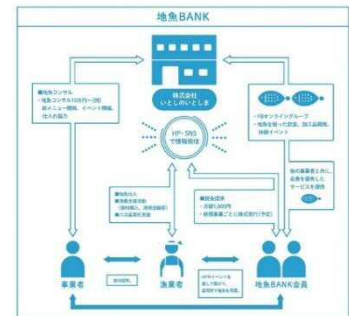
地魚BANKでうまい魚をこれからもずっと！

「志摩の海鮮丼屋」
地魚のみを使った
海鮮丼

伝統漁法について学び食する「うお旅」



保育園への地場産食材供給事業



地魚BANKの仕組み概要

取組概要

- 未来に豊かな水産資源や漁村文化を残すためには、漁業者や消費者、事業者が一体となって取り組む必要があるとの思いから、飲食事業の他に「地魚博覧会」、「地魚大運動会」等の啓蒙イベントを開催。さらには子供達への魚食普及を目的とし、地魚を中心とした地場産食材を、提携する企業主導型保育園へ提供。
- SNSの地魚BANKオンライングループを用いて、ビーチクリーンアップ活動等のイベント情報発信や、飲食・加工品開発のアイデア集め等を会員と共に実施。
- 漁村の歴史を学び、神経メや寿司握り体験等をするツアー（うお旅）の企画。

活動成果

- 地魚を使った飲食、加工品事業の売上げも年々増加。R元年は、H27年の約2300万円から約1.5倍の約3500万円を売り上げた。
- H30年度に地魚BANKの運用を開始し、翌年度には、資金・会員共に約3倍に増加した。
- インバウンド向けプログラムを想定し、九州大学の留学生や地魚BANK会員をモニターに実施した観光プログラム「うお旅」他、各種体験イベントを実施。H27年から、年1～2回実施していたが、地域の農泊推進に寄与するため、昨年度は10回以上実施した。

こばやし
有限会社 小林きのこ産業

守ろう×大莞(おおい)の宝×子供たちにつなげ



女性の活躍のための経営改革



6次産業化に向けて加工品を販売



大莞(おおい)祭り

取組概要

- S48年よりえのき栽培を開始。H元年に社会保険の整備など従業員の就業条件の改善等のため法人化。社会保険のほか退職金制度、産前産後休業、育児休業等を整備。
- さらに、従業員が家庭と仕事を両立できるように就業時間の調整や従業員のライフステージと希望に応じたパートから正社員への登用を推進。
- えのきを使った加工品開発に取組み、茶、クッキー、ごぶ漬、キムチ、ジュレ、ベンリディップなどを加工・販売。

活動成果

- 大木町におけるきのこ栽培の先駆けであり、種菌を培養する種菌センターの設立などきのこの産地形成に大きく貢献。
- 顧客、社員、経営者の「三者満足」が会社の理念。売上高1億円超の会社に成長。加工品づくりも経営の柱とすべく、食の商談会等への参加、消費者を招いた試食会開催など積極的に推進。
- 地元の祭り「大莞(おおい)祭り」へのきのこご飯の提供、地域の環境保全活動への積極的な参加などで地域に貢献。

ビジネス部門

ちくぜんまち
(株)筑前町ファーマーズマーケットみなみの里 さと

食で筑前町を発信！ & 食べて応援！



「お豆料理帖」

復興弁当

春のおふくろ便の開発

取組概要

- 直売所をメインに加工所、農村レストラン、弁当工房を有した施設であるが、災害やコロナ禍の影響で新たな取り組みに着手。九州北部豪雨災害では「復興弁当」を開発し、売上の一部を被災地に届けた。
- コロナ禍で学校が休校になり、行き場のない給食用キャベツ340キロを使い、「冷凍お好み焼き」を開発。
- コロナ禍の外出自粛中、筑前町の春の食材を食べてほしいと総菜の詰め合わせ「春のおふくろ便」の発送に取り組む。

活動成果

- 高齢女性のアイデアと技術により、新商品の開発に取り組むとともに、地元産の食材を農家より購入し、加工・販売することで地域の経済が循環する仕組みを作った。
- 給食キャベツのお好み焼きは、子供でも簡単に食べられるように、レンジで温める冷凍食品とし、1か月に約7,400枚を売り上げ、農家支援につながった。
- 「春のおふくろ便」は、高齢者はもちろん、遠方にいる子供へ送りたい等の要望もあり、約800個売り上げた。

佐賀県

い ま り NPO 法人伊万里はちがめプラン

生ごみを宝に、食資源循環によるまちづくり



保育園児と地元老人会とで菜の花苗の移植



生ごみ堆肥化プラントと見学者



小学4年生のはちがめ教室の風景

取組概要

- 飲食店のグループがH9年に商工会議所の協力を受け、生ごみ堆肥化の研究を開始。H15年に当法人設立。
- 生ごみ堆肥化実験プラントがH12年に完成。現在、一般家庭300世帯、食品関連71事業所の参加協力によって年間500トンの生ごみを回収し、良質な堆肥250トンを生産。
- 市内の小学4年生約300名に対して当法人の環境活動の実践を通して環境教育を18年間継続実施。

活動成果

- 生ごみ焼却費年間1,350万円の行政経費節約とCO₂削減1,000トンを実現。全国からの視察、見学者やJICA紹介による海外からの研修生を受け入れ、食資源循環の必要性を訴えている。
- 市立保育園と学校給食センターの生ごみ全量が堆肥化の委託契約となる。市内全保育園への菜の花苗を配布し、菜の花栽培等の取組を実施。
- 小学生への環境教育の結果、校区内団地の120世帯が生ごみ分別グループへ参加。

た ら だけ かいどう
多良岳オレンジ海道を活かす会

多良岳オレンジ海道を活かした農村の再興



ぶどう観光農園

オリーブオイルと
ミカンジュース

そば打ち体験



農泊(受け入れ農家との集合写真)

取組概要

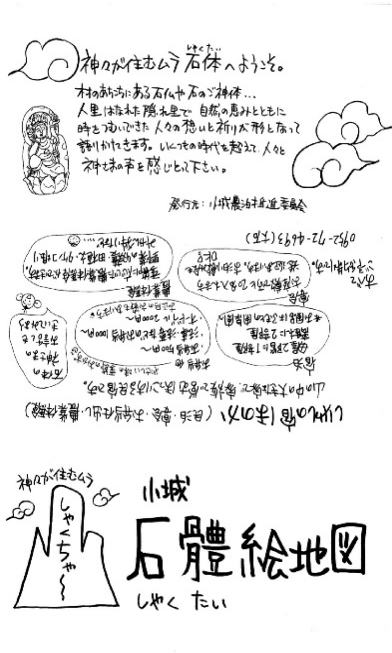
- 高齢化等により、農地の荒廃化が目立つようになったことから、平成23年に地域農業の再生を目的として設立。
- オリーブの試験展示圃(約30a)を設置し、オリーブオイルの特産化に向けた取組を行うとともに、無農薬みかんのジュースや冷凍果実の商品化に取り組んでいる。
- 観光農園(ぶどう・みかん)等の、耕作放棄地を活用したそば作り、農泊等に取り組んでいる。

活動成果

- 年々、活動の幅が広がっており、協議会の活動を地域または近隣市町村に認知されるようになってきている。
- 集客イベント等の交流事業の参加者は、平成28年の開催当時から倍増している。
- 耕作放棄地を活用し、オリーブの試験展示圃の設置やそば作りに取り組むことで、耕作放棄地の解消や新たな特産品づくりに繋がっている。

やど
いやしの宿ほのか

神々の棲む隠れ里を人々の集まる桃源郷に



石體祭りの石體太鼓



みかん狩り体験風景

取組概要

- 八百万の神々が棲むといわれる山里の石體集落で、平成23年から毎年4月と9月に、石體の収穫物の販売や石體太鼓を披露する「石體祭り」を実施。
- 石體に祀られている50もの神様を知ってもらうため、絵地図作家を招いてイラスト地図を作成。また、神話や歴史を絵本にまとめて周知を図っている。
- 農泊とセットの各種体験(季節に応じた農業体験、神様巡り体験、そば打ち体験、ミカンちぎり体験)を実施。

活動成果

- 各種体験型観光づくりの取組は、地元の方は勿論、都会から自然を味わいに来たお客さんに喜ばれている。昨年の宿泊・体験者は前年の4倍となった。
- 石體祭りや、美味しい田舎料理が食べられ、体験型の観光を行っていることから、少しずつ知名度を上げており、テレビ局の取材も受けるようになった。
- 毎年6月に住民で行う集落への道(10キロ程度)の草刈り作業等に、若い世代の参加もみられるようになった。

コミュニティ部門

たけ

岳の棚田環境保全協議会

地域の宝、棚田の資源を次世代に繋ぐ！



Tシャツアート展の遠景



棚田米



芋掘り体験



そうめん流し体験

取組概要

- 岳の棚田の農業の活性化と景観保全に向け、地域農業者、商工業者及び地域住民の協力による都市農村交流等の推進を目的にH28年に設立。
- 棚田に100枚以上のTシャツ作品を展示するアート展を開催。Tシャツは全国から募集したデザインをプリント。棚田のライトアップや棚田米を始めとする地元農産物や加工品の販売なども実施。
- 果樹や畑のオーナーを募集し、オーナーとともに耕作放棄地をよみがえらせ、管理を実施。

活動成果

- Tシャツアートをはじめとする集客イベントだけでなく、体験(芋掘り、そうめん流し、ピザづくり、蕎麦打ち等)の提供にも取り組み、交流人口の増に繋げている。
- 集客イベントや体験の提供にあたっては固定客もついてきており、都市農村交流が定着しつつある。
- 地元工業高校や地区小学校との連携等も整いつつあり、若い感性を取り入れた既存の取り組みのブラッシュアップ等に期待が持てるようになってきている。

岳の棚田環境保全協議会

佐賀県西松浦郡有田町立部乙2236-1 Tel : - Fax : 0955-46-4688

個人部門

いけだ ひろし
池田 大志氏

地域資源を活かし農業を「農産業」へ



自社製品のあま酒と黒豆グラッセ、AI酒、麦茶



IT企業との連携
ドローンでの薬剤散布



県内外から参加する収穫体験



海外販路拡大へ 商品PR

取組概要

- 農家の高齢化が進み、受け手がない点在している小さい区画の農地を受ける生産法人をH19年に設立。スマート農業、6次産業化、農産物の輸出など、多角経営を確立。
- H28よりグリーンツーリズムを企画開始し、農村地域の魅力発信に取り組んでいる。
- 生産効率の向上を目指し、地域の農業組織と話し合いの場を持ち、農地の集約化(団地化)に取り組んでいる。

活動成果

- 6次産業化の取組は、麦茶、AI酒、甘酒、黒豆グラッセ等、ニーズに応じた商品を続々と開発し、販売額はこの2年間でH27年の約7倍となっている。
- H30年より流通業者と提携し、香港への農産物輸出を開拓。昨年は6.93tの米を輸出した。
- 経営農地以外でも基幹作業のオペレーター役、農業機械のシェアリングを行うなど、地域農業組織と連携した営農が展開されている。

池田大志氏

<https://www.ikemako2007.com/>

佐賀県佐賀市川副町大字犬井道2345-5

Tel : 0952-45-0460

Fax : 0952-45-8081

長崎県

うつかわさとやま

現川里山保全の会

里山保全活動で地域コミュニティを活性化



子供・保護者による林道ごみ拾い活動



子供向け炭焼き体験会の様子



森林公園オープニング

取組概要

- 森林所有者と3年間活動の締結を結び、下草木の伐採、枝打ち、間伐作業という流れで取り組む。また、間伐材を利用し、森林公園で小屋・丸太遊具他の制作をしている。
- 平成27年度より年2回、延長7.5キロの林道美化活動を実施。近隣小学校の総合学習の一環として参加してもらっている。
- 森林公園活動として、学童保育の子供たちを迎えて、炭焼き体験や自然林体験会などを行っている。

活動成果

- 植林地保全活動は、高齢者など森林管理のできない所有者に喜ばれている。
- 林道美化活動を行う上で、最近ではイノシシ被害(落石等)が多くあるため、土石除去作業もやっており、地域住民の市内への移動路としての機能を維持している。
- 子供たちの環境美化体験活動を通し、感想文発表やごみ捨て防止ポスターなど、環境美化意識の推進に繋がっている。また、森林公園活動等での体験で、自然環境への関心の高まりに寄与できている。

現川里山保全の会

長崎県長崎市現川町2525番地

Tel : 095-830-2483 Fax : 095-830-2730

たびら

田平地域農業活性化協議会

農業、担い手、農地利活用の面からの活性化



飼料イネWCSあとブロッコリー展示圃

ブロッコリー機械化体系展示

作業支援員の現地ほ場研修

取組概要

- H26年に平戸市田平地域(旧田平町内)の農業活性化を図るため、17の農業関係団体代表者を構成員として設立。H27年に住民主体で地域の将来ビジョンを作成。
- 労力支援組織の設立に向けた協議、耕地の有効活用に向け、飼料稲WCSとブロッコリー等の展示圃の設置等推進。
- 地域資源の活用による地域活性化を図るため、地場産品を活かした地域のPR、都市住民等との交流人口拡大に向けた取組みを推進。

活動成果

- 労力支援として1人の作業支援員が有料で1日1戸、11戸の農家の作業を順に手伝う田平町労力支援組織を設立。組合員からは、家族労力の足りない農繁期に来てもらえるので助かりますとの声が寄せられている。
- 協議会活動により、労力支援組織の構成員拡大またはヘルパー組織等も含む同様の組織数を増やしていきたい。
- 新規の作業受託組織や集落営農組織の育成に取り組み、田平地域全体の活性化につなげていきたい。

田平地域農業活性化協議会

長崎県佐世保市吉井町大渡80

Tel: 0956-41-2033 Fax: 0956-64-2239

いさはや
長崎県立諫早農業高等学校 食品科学部

長崎県農産物を用いた地域活性プロジェクト



取組概要

- 県のブランドみかん「伊木カみかん」の知名度が低迷するなか、行政等から規格外品を用いた商品開発の依頼を受け、「みかんおこし」を開発
- 規格外の枇杷・南瓜・かんころを使用した菓子商品も開発（「枇杷カステラ」、「つきひめ」、「かんころランタン」）。また、南瓜蔓等の廃棄物から伝統文化「湯江紙」の開発にも成功。
- みかんの果皮や絞り滓を椎茸栽培の菌床として活用する技術を開発。

活動成果

- 「みかんおこし」は販売から1年8ヶ月で、20,000箱を売り上げる大ヒット商品となり、長崎県特産品新作展「ながさき手みやげ大賞」受賞。
- みかんの果皮等の廃棄物を使った椎茸菌床栽培技術は、特許を取得。
- JA長崎や伊木カみかん加工グループのみ会からは、「材料提供が追いつかない」と喜ばれるとともに、地元農業や産業全体に経済効果をもたらしている。

株式会社 ふれあいファーム

「安心・安全」「つながる農業と福祉」



爽やかトマトジュース完成



トマトハウス作業風景



水耕栽培ハウス作業風景



落花生の作業風景

取組概要

- 従来の水耕栽培によるサラダほうれん草とココバック栽培のトマトに加えて、令和2年度は小葱・落花生の栽培を始めた。
- 収穫・選果・計量・袋詰め・箱詰めなどの作業を障害のある方が主体的に取り組めるよう、作業工程を細分化し、文字だけでなく絵や色などを用いて視覚的な作業環境づくりに努めている。
- 自社生産のトマトを使った無塩・無添加トマトジュースの製造・販売。

活動成果

- 現在、障がいのある方40名が主体的に、やりがいと自負を持ちながら作業に従事。地域労働者の雇用やボランティアの受入、障害児童等の就労体験等の幅広い取組を実施。
- 障がい者は、この活動によって経済的にも自立し、グループホームなどで生活することが可能となった。
- トマトジュースは、スーパーや直売所だけでなく銭湯や温水センター、カフェを販売チャネルとして、健康志向の高いお客様に喜んでいただいている。

一般社団法人まつら党交流公社

松浦党の里 ほんなもん体験



地引き網体験



田植え体験



農泊

取組概要

- 松浦市、平戸市、佐世保市で体験型修学旅行を受入。当公社は学校・旅行社の窓口、構成組織(13組織1団体)は現場管理を、各組織に加入する会員(農林漁家)は修学旅行の受入れを、それぞれ担う。
- 体験メニューは農林漁業、田舎料理、シーカヤック等84種類を提供。会員(450戸)は体験と民泊をセットで提供。また、修学旅行閑散期にインバウンドを含む一般客の受入れに向け、ホームページ作成等PR活動を実施。

活動成果

- 年間150校2万人前後を受入れており、H30年度には、累計30万人を達成。一般客の受入も増加(R1年度843人)
- 生徒は、農林漁業と民泊の体験で、地域の食文化や生活、農水産物の価値を知り、コミュニケーション能力を高めている。受入れ側は、生徒が感動する姿を見て、自分の生業に自信と誇りを覚えている。
- 体験指導料や民泊料を始め、弁当発注等は、地域に経済効果をもたらしている。

ゆきのうら

特定非営利活動法人 雪浦 あんばんね

雪浦ウィークから雪浦マンス&イヤーへ



移住体験ツアー



長崎大学留学生サマープログラム

取組概要

- ゴールデンウィーク期間中に4日間開催する地域回遊型イベント「雪浦ウィーク」をH11年以来、毎年開催。(今年度はコロナ禍で初の中止)
- 年間を通した活動の創出に向け、H27年にNPO法人化。カフェレストランを開設するとともに、H30にゲストハウスをオープンした。
- R元年は長崎大学と連携し、留学生12名を受け入れ、サマープログラムの地域社会を学ぶ場として雪浦を提供。

活動成果

- これまでの「雪浦ウィーク」や地域活性化の取組でUIターン者が増加しており、小学校生徒数の減少が止まり、保育園児数は上昇に転じている。
- ゲストハウスの宿泊者数は、英語版HPの開設等もあり、R元年に入りインバウンドが急増し、世界約30か国から254人の来訪者があった。
- R元年8月に「移住体験ツアー」を実施。3家族10名参加のうち、1家族が移住している。

特定非営利活動法人 雪浦あんばんね
長崎県西海市大瀬戸町雪浦下郷1241

<https://yukinoura.net/>

Tel: 0959-31-4071

Fax: 同左

熊本県

てんめい 天明環境保全隊

守り伝えよう環境と文化～地域、学校、福祉の連携～



れんげ祭りでの交流



銭じゃこ太鼓・花棒踊りの披露



水源地の下草刈り 天明中

取組概要

- H19年に31集落の全住民、各種団体(16)により設立。農道・水路・農地、海浜の保全活動、生ゴミ等の堆肥づくり、毎年160haのレンゲの作付、水源涵養林の育成、漁協と連携した河口の野焼き等を実施。
- 天明文化保存協議会を立ち上げ、雨乞い太鼓の引き廻し・花棒踊り等を伝承。
- 小中学校(7校)で地域の歴史・風土の出前講座、田んぼの学校を開催。

活動成果

- 天明のNPO法人から呼びかけた緑川の清掃は、今では流域住民2万人が参加する一大イベントに発展。
- 様々な活動を通じ、地域ネットワークも構築され、団体・集落の相互理解が進んだ。耕作放棄地もなく、農漁業後継者も多く育っている。
- 校区単位のワークショップを年2回開催することで、活動範囲が拡大し、新たな活動にも挑戦可能となっている。

天明環境保全隊

熊本県熊本市南区奥古閑町1863-5

Tel :096-223-2226 Fax :096-223-5606

郷土の家庭料理 ひまわり亭

“食”でまちづくり・人づくり・元気づくり!!



三部研修の様子:ひまわり亭にて



作成したレシピ集



令和2年熊本豪雨災害
キッチンカーによる炊き出し

取組概要

- H2年に地域のボランティアグループとして、独居老人への宅配弁当・見守り、地域イベントへの参加等の地域主婦の“食”をコンテンツとした活動からスタート。
- H10年に築120年の古民家を移築・改修し、郷土の家庭料理でもてなす「農家レストランひまわり亭を開始。
- 幼稚園給食、一般弁当、総菜の製造・販売にも取り組むほか。郷土料理伝承塾の主宰、講演+食事+調理の三部研修実、食育、農泊、震災復興支援等、幅広く活動し、地域活性化に貢献している。

活動成果

- レストラン部門、お弁当・総菜部門の売上げや体験研修参加者数は、年々増加してきている。
- 農山漁村女性の力を結集したレシピを全5冊作成するとともに、野菜ソムリエ上級プロを招き開講した子供食育講座では、次世代を担う20名のキッズ野菜ソムリエが誕生した。
- 熊本地震、令和2年7月豪雨では、自ら被災しながらも被災者へ連続120日間、13,000食を配食し、その後も仮設住宅へ支援を継続して行っており、被災地域の方から、多くの感謝の言葉が寄せられている。

郷土の家庭料理 ひまわり亭

<https://himawari-tei.com/>

熊本県人吉市矢黒町字西の園1880-2番地 Tel : 0966-22-1044 Fax : 0966-24-8610

有限会社むらた活魚

「身欠き加工フグ」の開発と新規市場開拓



陸上養殖圃場の「吉宝フグ」



個人消費者向けの鍋商材



自家製モイストペレット

取組概要

- 身欠いたフグを更に加工し、プロ向き商材やエンドユーザー商品として開発。
- 自動化により温度・凍結等全工程を記録に残しトレーサビリティ管理を体系化。プロトン凍結機の導入により高水準・品質の加工品開発や安心安全な衛生管理基準の向上に取り組む。
- 熊本の養殖業者は最盛期の60%程度と衰退してきている中で、本事業によって自社のみならず、地域の養殖業界の底上げや活性化を目指す。

活動成果

- 「身欠き加工フグ」開発の事業計画により、6次産業化総合化事業計画認定事業者となるとともに、県内ホテルでのブライダルやレストランレギュラーメニューに採用される。
県内ホテルでの採用により熊本食材の魅力発信にも寄与。
- 本事業により労働の多様化が図れ、地元雇用の拡大が見込めるとともに、地元養殖業界の発達、活性化にも寄与。

有限会社むらた活魚

熊本県上天草市大矢野町維和420番地の3 Tel : 0964-58-0527 Fax : 0964-58-0842

草原再生オペレーター組合

阿蘇の草原をずっと未来へ



採草作業風景



組合員と作業機械



保管された野草ロール

取組概要

- 平成19年に、当時20～30代だった若手農家を構成員として組合を立ち上げる。農閑期や農作業の隙間時間を利用して未利用野草を収穫し、飼料や堆肥の資材として販売。
- 自治体や牧野組合からの情報・要望により未利用草地を選定。大型トラクターで採草後、ロールにし、飼料用はラッピングして保管。
- 採草したロールは、刈取り時期や状態に応じて飼料や堆肥・マルチ用として阿蘇地域内外に販売。

活動成果

- 採草面積は年々増加し、H24年の18.9haからR1年には142haとなっており、持続的な草原保全に貢献。
- 販売売上は、H24年261万円、R1年756万円となっている。地元若手農家の雇用創出にも繋がっており、今後は組織の基盤強化を図るために法人化を検討している。
- H28年1月に、野草から作物の病害虫を予防する善玉菌が多量に発見され、その報道が野草販売を後押し。

あそ 阿蘇地域林業担い手対策協議会

阿蘇地域の林業担い手対策の取り組み



「あその山モン伐木チャンピオンシップ」：枝払競技



地元高校への就業ガイダンス

他地域の林業関係者との交流会

取組概要

- 阿蘇地域の市町村、関係団体によりH28年に設立。チェーンソーによる枝払い等の競技を通じて林業の魅力を発信するイベント「あその山モン伐木チャンピオンシップ」を毎年開催。
- 地元高校生に林業関係者が講義する就業促進ガイダンスや就業希望者を3日間程度受け入れるトライアル雇用を実施。
- 林業の魅力ややりがいを発信する冊子やwebを活用した情報発信を強化。

活動成果

- 「あその山モン伐木チャンピオンシップ」は昨年度400人以上を集め、多くの人に林業の魅力をPR。
- 就業促進ガイダンスやトライアル雇用の取り組みにより、平成30度は2名が就業。
- 様々な活動で、阿蘇地域の林業事業者も活気づき、管内の認定事業者が設立時の8社から11社に増加した。

NPO 法人あじ菜工房 さい

菊芋の6次産業化で農福連携



作業受託によるタマネギ収穫



菊芋定植作業



菊芋と乾燥粉末の製品

取組概要

- 当法人は就労継続支援A型事業所を運営。農地を借りて障害者と野菜の生産・販売や高齢の農家から委託を受け、草取りや作物の植え付け・収穫等の農作業の手伝を実施。
- 菊芋を乾燥粉末に加工し販売。原料の菊芋は通常の菊芋よりもイヌリン含有量が多い紫菊芋を自社農園で有機栽培し、使用。また農作業を受託している農家にも菊芋を栽培してもらい、収穫物を原料として購入。

活動成果

- 作業受委託(R元年度は100a)の取り組みにより、高齢農家の農作業を軽減することで農地の維持に貢献。また、R元年度はネット販売を開始。前年の倍近い売上を伸ばした。
- 障害者の就業機会が乏しい地域で雇用機会の確保に貢献。また、一般就労しても職場で働き続けることが出来るよう体力面・精神面の向上を目指した就労支援を実施。賃金も売上の中で賄えており、厚労省の基準を満たす。

まき
真木地区協議会

高齢者が安心して暮らせる農村集落の創生



取組概要

- 地区住民と行政等で組織。苗作り・田植え・稲刈り体験等の交流活動を実施。地域住民による遊休農地の解消。
- 地域営農法人「もやいネット真城」を核とし、冬期湛水による地下水涵養事業等の農地の維持活動に努める。
- 高齢者の健康増進に向け「元気塾・ふれあいサロン」を女性有志で開催。

活動成果

- 平成27年度から始めた事業を通して、区民が地域の良さを再確認。各事業の展開の中で区民の連携が強固になった。
- 地域の豊かな緑と豊富な地下水によって、地域とそこに暮らす住民は育まれているという自覚が増した。
- 元気塾・ふれあいサロンの開催による交流事業により、高齢者の健康増進等に貢献している。

真木地区協議会

熊本県菊池郡大津町真木412-1

Tel : 096-293-4558

Fax : 096-285-1672

おぐにまち

小国町森林組合

小国杉と地域がもたらすやる気、元気、勇氣



取組概要

- 昭和26年に設立。現在713名の組合員が在籍しており、古くから受け継がれている「小国杉」の継承に尽力している。
- 平成22年より小国杉エコツアーを開催し、平成29年には林業体験インターンシップの受入を開始。
- 林業担い手の魅力、仕事の魅力などを発信できるような映画「ウツジョイオグニ」を製作し、町民や中・高校生への上映、HP、Facebookでの掲載、YouTubeで公開した。

活動成果

- 昨年SNSで公開した動画の再生回数が2,500回となり、今年度は更に倍近くの再生回数を見込んでいる。
- 林業担い手の魅力、仕事の魅力を発信できる映画を製作することで、都会の若者へ「林業の魅力ややりがい」を伝え、担い手確保に繋がる波及効果を期待している。
- 地元関係者をキャストに且つ地域の観光地も入れて小国杉と小国町PRできるような映画となっており、小国町の活性化にも寄与することを期待している。

小国町森林組合

熊本県阿蘇郡小国町宮原1802番地1

<http://ogunisugi.com/>

Tel : 0967-46-2411 Fax : 0967-46-5474

一般社団法人 sol 森のようちえんおてんとさん

フルキハアタラシキ～人が繋がりに育つ場創り



02ファームにて田植え



地域の方の梅ちぎりお手伝い



卒園式の集合写真

取組概要

- 自主保育で開始した森のようちえんをR1年に法人化。農家の子供さんたちを中心に預かり保育としてリスタートした。
- インクルーシブ教育を取り入れ、通所事業所の児童と共に交流事業として、毎日山や川、畑等で身体を使ってたくさん遊び、学びあっている。
- 南阿蘇村の02ファーム・たのくろ農園さんと一緒に野菜や米を作り、土に触れ、作物の成長を一緒に見つめている。

活動成果

- 野外教育の中で多くの農村の人々と直接交流することで、楽しく農業を知り、農家の人々の素晴らしさを知り、農村で生きていく楽しさを実感している。
- インクルーシブ教育等の方針に惹かれ、児童数が10名から18名に増加した。
- 農村や高齢者に伝わっている遊び唄を子供たちと行き、遊びの中で身に着けていた社会性や我慢・努力・勇気を学んでいる。また、高齢者との交流、生きがいにも繋がっている。

そよう 蘇陽農場

女性が創る農福連携！多様な雇用で笑顔一杯



蘇陽農場は南阿蘇山麓の山里にあります

自給飼料用マリーゴールド

取組概要

- H28年設立。南阿蘇山麓の山里にあり、地域ブランドたまごを地元をはじめ大消費地福岡へDay0直送で販売。
- 『農×福×女性連携＝多様な雇用＝有機堆肥×地域自給飼料栽培＝持続可能な農山漁村(むら)づくり』をスローガンに、「女性の活躍推進」、「障がい者雇用」、「『循環型社会づくり』～有機堆肥製造と地域自給飼料栽培」に取り組んでいる。

活動成果

- 勤続20年の女性が農場長として活躍。後輩女性もジョブコーチ、障がい者就労支援責任者として活躍中
- 現在7名の障がい者を雇用。障がい者向けに作業手引書第2版を作成。地域関係者向けに第1回農福推進勉強会を開催。
- 自社鶏糞の有機堆肥化に取り組中。遊休農地を活用し、自給飼料マリーゴールドの栽培開始。試験給餌実施。

やま と
株式会社 山都でしか

山都でしかできないワクワクを！



親子で楽しむ食育
調理体験



親子で楽しむ食育
稲刈り風景



山都でしかレストランの様子
野外レストラン

取組概要

- 地域の若手農家、飲食店オーナー等をメンバーにH29年設立。山都町でしかできないこと、山都町でしか出せない価値を形にする会社。
- 毎年、ホテル日航熊本と連携し、「親子で楽しむ食育」を開催し、調理体験や稲刈りを体験を実施している。
- 農泊事業にも取り組み、モニターツアーの受け入れや野外レストラン「山都でしかレストラン」の試験運用を開始している。

活動成果

- 「親子で楽しむ食育」では、毎年参加してくれる方もあり、新たな体験の提供等にとっても感動して頂き、山都のファンになってくれる方も増えている。
- コロナによる来客減で被害を受けている農業者や山都町内の飲食店を支援するために実施した「山都町応援クラウドファンディング」では、目標額の3倍を超える支援を集めることができ、SNSや新聞、TVに取り上げて頂いた応援キャンペーンにおいても多くの支援を集めることができた。

たらぎビジネスデザイン協議会

子どもをまんなかに地域をつなぐ



商店街の方々との交流



断熱ワークショップ



生産者との交流・収穫・調理体験

取組概要

- 町が継続・活性化していくための「新しいまちづくり」の形を見つけたいとH30年に協議会を設立。働く子育て世代の女性中心の事業で、リアルなニーズをつかみながら進めている。
- 初年度の託児トライアルから、R1年は「たらぎのあそびば」プロジェクトに発展。ハロウィンパレード等のイベントを4か月のなかで10回開催した。
- 講師を招き、空き家の下調べ、利活用の可能性を検討し、リノベーション実践のワークショップを開催。

活動成果

- 地域の農産物を活かしたワークショップや商店街等を利用したイベントで、地元商店街の方々と参加親子が繋がり、住民の交流促進になった。
- 屋内・屋外のイベントで託児を行い、子育て世代の参加ハードルを下げることができた。また、子育て世代のニーズを拾い上げることが出来た。
- Facebookや新聞等の取材により認知度も高まり、町内外問わず協力者も増え、コミュニティーの輪が広がっている。

山江村地域活性化協議会

学校給食地産地消推進で地域農業振興



農地の作付調査

真空調理器による通年供給体制の構築

学校給食関係者会議

取組概要

- 農林業の推進にあたり、村内の各団体の意見・意思を的確に施策に反映させるため、H27年に設立。
- 農地情報を図面化し、学校給食に納品される野菜等の作付け圃場を可視化し、食材の納品体制を構築。
学校給食への注文及び作付依頼の窓口となるテレワークセンターを設置し、情報を集約化。
- 農地及び作付け状況のわかるデータを蓄積し、食育の教材として活用。

活動成果

- 学校給食への村内農産物供給が拡大。重量ベースで約5割程度を占める。需要と供給側の相互情報共有により、新しい農産物の生産が始まり、参加農家も年々増加。
- テレワークセンターを中心とした受注管理により、需要と供給のミスマッチが解消しつつあり、作付及び使用品目の情報が集約化され、今後一層安定した農作物の提供が可能になる。

とうようかい
社会福祉法人東陽会 りゅうきんか

「アグリハ」～農業×リハビリの創作力！～



開花後、筆を使って人工授粉を体験

「ハウスへの通勤」で歩行訓練

イチゴジャム作りにも挑戦

取組概要

- 入・通所者は元農業従事者が多く「自身の経験や知識が生かせる農業と福祉、リハビリを連携させ、健康増進・生きがいの造成・将来的な高齢者の就労につながるような取組としてスタート。
- リハビリの検証・評価をするために、利用者10名を対象に3グループに分け、評価を作業療法士が実施。
- イチゴの苗160株をハウス内でプランター栽培。人工交配や水やり、草取り等日々の栽培管理を利用者とともに実施。

活動成果

- 身体機能、認知機能面では各検査でわずかに向上が見られた。取組に対するアンケートでは満足度が高くなっており、かかわる時間が長いほど栽培に対する意欲が高まっている発言が見られた。
- 利用者がイチゴの様子を気にかけて、積極的に管理に携わってくれる意気込みが見えた。
- 担当以外の職員も積極的に参加し、イチゴ栽培によって活発で円滑なコミュニケーションが取れ、職場環境にも好影響を与えた。

個人部門

みやざき くみこ
宮崎 久美子氏

菊池川流域の恵みの食で人と地域の元気創造



干し柿作り体験イベント

新たな農家おばあちゃんカフェ
「あいいい」のオープン
チラシ

野菜料理のバイキング店「view café 935」



地元野菜をふんだんに使った料理

取組概要

- 38年間学校給食と病院給食に携わった経験を活かし、地域食材を使った季節の野菜料理のバイキング店をオープン。
- 保育園の若い先生方の視察体験等を通じて、次世代へ「食の大切さ」と「郷土料理」を伝えている。
- 「菊池川流域の恵み」体験協議会のおばあちゃんカフェ部会に参加し、自分の店を参考とした「おばあちゃんカフェ」を増やす活動や「干し柿作り体験イベント」の実施にも取り組んでいる。

活動成果

- R2年9月で2年になり、来店して頂いた方は延べ1,304名と大変多くの方に来店いただいている。
- 営業日には、地元農家の女性達がコックやウエイトレスとして働き、女性の活躍する場となっているほか、地域外から訪れる方々との交流場となっている。
- 「菊池川流域の恵み」体験協議会のおばあちゃんカフェ部会の活動により、R3元年度に菊池川流域エリアで新たなおばあちゃんカフェが1軒誕生した。

宮崎久美子氏

<https://www.facebook.com/viewcafe935/>

熊本県山鹿市菊鹿町上永野1304-2

Tel : 0968-48-3421 Fax : 0968-48-3421

個人部門

なかやま ちはる
中山 千春氏

フルキハアタラシキ～子供達へ繋ぐ農村の宝



わらべ唄の採取りをし・伝え、農村の子育て文化の継承

取組概要

- 高齢者と伝統料理教室やお手玉で世代間交流を図る。また、子育ての大切な智慧として伝承されてきたわらべ唄を次の世代に残していくため、高齢者から聴き取り・採取りを行う。
- 高齢者から聞き取り・採取りしたわらべ唄をCD化し。母たちへ提供。
- 子育て支援で、昔遊び・わらべ唄を活用し、伝える。また、この5年は依頼を受け、九州内の保育士や特別支援の方への研修も行っている。

活動成果

- わらべ唄の採種や世代間交流では、高齢者から母親たちへ直接子育ての知恵を伝えることもあり、かかわる高齢者の回想法や生きがいにもつながっている。
- 子育て支援で、当初は「昔遊びなんて」と期待無く参加する親子が多かったが、どれだけ子育てに役に立つかの必要性を理解してもらい、最近では研修依頼も多くなっている。
- 高齢者の協力者も徐々に増え、子育て支援や伝統料理教室で世代間交流をしたり、互いに喜び合う時間が増えた。

中山千春氏

熊本県阿蘇郡高森町上色見1388-1

Tel : 090-2960-0418 Fax : 0967-62-2228

個人部門

ひろばやし かのん
廣林 花音氏

休学せずに農村留学！？



田植え機ではできない所を手植える



稲の種を熱消毒する様子



大学研究室の企画
オンラインに農家の娘さんと参加



大学の研究室に発信
していた南阿蘇だより

取組概要

- 九州旅行中にコロナの緊急事態宣言を受け関東の大学に帰れなくなり、大学の先輩で南阿蘇村の女性農家宅にたどり着く。オンライン授業開始をきっかけに、農村で農業×学業が始まった。
- 南阿蘇村と大学を繋げるために、所属する研究室で生活や出来事をまとめた「南阿蘇だより」を発信。
- オンライン授業が普及する中で、休学せずに農村留学をするという学びの形が選択肢になるように、まずは自校の学生を呼び込んでいくことを目指す。

活動成果

- オンライン授業によって、休学しなくても好きな場所でやりたいことを全てでき、今までで一番多く単位を取得できた。
- 南阿蘇村の人々に関わる中で、都市圏で勉強しているだけでは体感できない農村の跡継ぎや少子化の問題等をリアルに体感することができている。
- 農業・農村・田舎暮らし・子育てなどに興味がある学生は多く、所属する研究室で南阿蘇での生活等を発信していったことで、学生の1名が南阿蘇に今後滞在することが決まった。

廣林花音 氏

熊本県阿蘇郡南阿蘇村両併1283-3

Tel : - Fax : 0967-62-3730

大分県

しんすいしき 進水式を推進する会

造船会社が3社、進水式の回数は負けない！



進水の瞬間。この瞬間をみてほしい



テイクフリーのハガキ



地域の商店に掲げた吊り旗

取組概要

- 造船会社が3社あり、進水式をきっかけにしたまちおこしに挑戦。交流人口と滞在時間の増加を目指す。
- 進水式を見に来た観光客を、宿泊・食事・買い物・他の観光につなげるため、壮大な進水式をポスター、旗、のぼり、ポストカードなどでアピール。
- 進水式の動画や今後の日程をSNSで紹介。R1年は3社合計で20回の進水式を実施。

活動成果

- 活動5年目。マスコミからの各種取材及び進水式がテレビ、雑誌などで取り上げられ、佐伯市のPRに貢献。
- 佐伯市民に造船のある街としての魅力の再認識が着実に進んでいる。
- 進水式のお問い合わせを造船会社から観光協会及び市商工振興課で対応する運びとなり、地域としての協力関係を構築。観光協会が進水式ハンドブックを作成。

コミュニティ部門

まるやま

丸山生活改善センター運営委員会

限界集落の小さな挑戦 合宿による地域づくり



集落山林内に造成したクロスカントリーコース



小学生による郷土学の企画提案



田んぼアート

取組概要

- 公民館が老朽化し、大規模な改修が必要になったことをきっかけに、地域外との交流ができる「学生のスポーツ合宿施設」としての活用することとし、簡易宿所許可を取得した。
- 地元小学校による郷土学を企画し、5年生(4人)が丸山自治会について学習。
- 冬場は3反の田んぼにLED照明を使った光のファンタジー、春は菜の花アートで集落を盛り上げている。

活動成果

- 自宅で採れた野菜などの提供、食事の手伝いなど、自治会一丸となって合宿の受け入れに取り組むことで、学生達との交流ができ、地域に活力が生まれている。また、合宿誘致の成功により、集落山林内にクロスカントリーコースを造成するとともに、視察研修の受け入れも実施している。
- 子ども目線での自治会の活性化案が提案され、今後この提案を具体的に取り組むことを検討している。
- 平成28年4月の熊本・大分地震の際に避難所として活用することができた。

ふかみ

深見地区まちづくり協議会

地域の未来 地域で考え、地域で行動



地域をつなぐおさかな教室 長洲漁協



過疎地域の沿道草刈り



深見しらズマーケット

取組概要

- 集落機能の低下、PTA・老人クラブ等の活動も低迷する中、各団体が相互に協力して問題解決に取り組むため、H21年に当協議会を設立。
- 景観維持のため、史跡や名所の花壇の手入れ、沿道の管理ができなくなった地区への草刈の応援、耕作放棄地への牛の放牧を実施。
- 伝統文化継承のためのしめ縄づくり、神楽の復活。交流促進のための小学校文化祭と地域の祭りの合同化。

活動成果

- 少子・高齢・過疎のため、これまで個別団体だけでは難しかった活動も各団体が相互に協力することで、復活や継続への道筋を作ることが出来た。
- 郷土料理を主体としたワンコイン食堂・居酒屋を開催。地域外の人も多数、参加していただいている。
- 小学校の文化祭と地域の祭りの合同開催により、参加者・観客が増えるとともに、独自企画の演出で都市部住民との交流を実現。

しちとうい
くにさき七島藺振興会

貧乏草を青いダイヤに 国東の新たな挑戦



他団体とも積極的にコラボ



関連機器の保守、改良事業

「ものづくり巧の技」展でのPR

取組概要

- 畳の需要減、生産者の高齢化等により、産地消滅の危機を迎えた豊後特産の七島藺を地域産業として再生させるため、当会をH22年に発足。
- 七島藺の魅力を発信するため、物産展等のイベントに参加。メディアを通じてPR。「世界農業遺産認証品」の認証を受け、農水省の「地理的表示保護制度」の登録をH28年12月に取得。
- 七島藺畳の文化的価値を継承していくため、国だけでなく、県、市町村単位でPRを実施している。

活動成果

- GIの認証を活用し、会全体で七島藺価格の見直しを行い、個々の農家では出来なかった価格引上げを実現。
- Uターン新規就農者支援の機運が高まり、国東市朝来地域では地域の人々がUターンの生産者を支援する仕組みが動き出した。
- 世界農業遺産登録後から立候補地や登録地域からの視察が増え、中国、カザフスタン、キューバなど多様な国からの視察が増えている。

宮崎県

とくしげ
徳重紅梅園

伝統農業と加工を後世に伝える



大淀川源流傾斜地に広がる、25年生の梅園



大根占生産組合の発足会



草生栽培の草刈り。年に6~8回行う

取組概要

- S37年より梅の有機栽培に着手。S48年頃から加工販売に取り組み。H元年より大淀川源流域で梅園を拡大。
- 梅の栽培は有機肥料主体で、徹底した草生栽培で土作り。青梅は伝統の無添加により梅干、梅肉エキスに加工。
- H5年以降、取組が度々全国報道。報道を見た大根占町の梅生産者グループから要請を受け有機栽培を指導。青梅を買い取る等支援。

活動成果

- 梅園の造成で大淀川源流の集落の過疎化対策と景観保全・自然保護に貢献。周辺にも植林が進展。
- H5、H9、H14、H29年にNHK等で全国報道。多くの顧客を確保。無添加の梅加工品が高く評価。発送商品の緩衝材として入れる自家生産の有機野菜の味にも感動と感謝の声が届く。
- 当社の梅干しが、H30年度に一般社団法人食品産業センターの「本場の本物」に「都城盆地の鶯宿梅梅干」として認証される。

コミュニティ部門

のべおか

延岡ふるさとツーリズム協議会

農泊事業によるインバウンド誘致



中国友好ロボット訪問団生徒と延岡農泊従事者



農泊先での中国の児童



奇跡の清流でカヌーツーリング

取組概要

- 市内に一般的な観光ツアーに対応できるホテルがわずかしかないという現状を打開し、誘客の拡大、未来のリピーターを創出していくため、修学旅行誘致を目標に民泊事業を推進。H29年に設立。
- 農泊家庭のレベルアップ、体験メニューの充実、教育旅行の誘致活動を実施。
- 農業・漁業はもちろん、「海」は釣り・クルージング等、「川」はカヌー・溪流フィッシング等、「山」はハイキング・トレッキング等、自然を活かした多くの体験メニューを提供。

活動成果

- H30年は延岡市初となる海外(台湾)からの修学旅行生32名を農泊をコンテンツに受入。R1年には農泊と産業視察をコンテンツに中国本土からの教育旅行誘致に成功。国内からの問合せも増えている。
- インバウンド受入数はH29年20名、H30年78名、R2年は88名。宿泊数はH29年175名、H30年300名、R1年305名であり、インバウンド誘致により宿泊数は大幅に増加。

あや ゆ がく
綾結い学アーカイブス

綾町の自然共生理念を世界へ



食養講座の様子



神楽イベント



自然農体験合宿

取組概要

- H27年設立。自然生態系農業の町としてのブランド力を高めるため、「食養講座」を開催。材料に綾産の野菜を使い、物産館の販売促進を進めた。
- シュタイナー教育に取り組む関東の2校の農業実践のカリキュラムを綾で出来るよう誘致。10軒ほどの農家と自然農体験合宿を進めているが、今年度はコロナのためすべて中止。
- 自然との共生をテーマにした町の文化の1つとして神楽の復元に着手。

活動成果

- 「食養講座」や薬膳のお弁当等の材料に綾産の野菜を使い、町の物産館の販売促進に貢献。
- 自然との共生をテーマにした町の文化の1つとして神楽の復元に着手。これらの取り組みが評価され、経済産業省の観光マスタープラン整備事業の計画作成に参画。
- 地域で取り組む国土交通省のかわまちづくり推進事業のコアメンバーにも選出される。

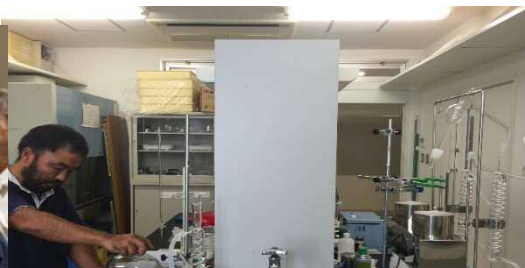
ビジネス部門

かつき
合同会社香月ワインズ

手作りナチュラルワインの参加型ワイナリー



サポーターによる選果作業



大学との協働研究で試験醸造



大学生による課外実習(移植作業)

取組概要

- ニュージーランドとドイツで10年間ワイン醸造を学び、そこで経験した家族やコミュニティを軸としたワイン造りを地元宮崎で挑戦すると決意し帰国。サポーターと共に造る参加型ワイナリーとして平成26年に会社設立。平成29年に初収穫。
- ヨーロッパのワイン用品種を日本の栽培技術を適合し、化学肥料、殺虫剤、除草剤を使用せず持続可能なブドウ栽培を実践。無添加無濾過のワインを生産。
- 県内大学と連携し、共同研究による試験醸造、学生の課外授業の受け入れ、試験圃場として一部区画の提供を実施。

活動成果

- 2020年7月末綾町のふるさと納税返礼品に選定される。当社ワインを通して地元自治体のアピール、納税誘致に貢献。
- ワイン特区の認定を得ている綾町において、当社の醸造設備を提供することで、醸造所を一から建設することなく低予算での新規参入をサポートすることが可能。果樹生産、ワイン産業の振興および町の発展に貢献できる体制を構築。
- ワイン造りに興味をもった学生・若者をニュージーランド等のワイナリーへ紹介し、派遣。本場のワイン造りを体感してもらう機会の創出に寄与。

合同会社香月ワインズ <https://www.katsukiwines.com/>

宮崎県東諸県郡綾町大字北俣2381番地 Tel・Fax:0985-40-1565

ビジネス部門

むらしよ くらぶ
村所女性部いとまき倶楽部

「生涯現役・元気村」の女性グループ



催事での物販



加工品原料の収穫



中学生と作成した商品ラベル

取組概要

- H23年設立の女性グループ。米良糸巻大根・ゆず等を使った漬物、うめぼし、よもぎ団子等の加工品を製造。
- また煮しめ、山菜おこわ、お寿司、おはぎ等総菜を村内外のイベントで販売。毎週火曜日に弁当販売も実施し、昨年からは配食サービスも開始。
- 原材料は、原則村内で生産されたものを使用。米や野菜は会員が生産したものを買い上げ。梅とシソは、未利用農地で共同の管理・収穫を実施。

活動成果

- 加工品等の製造販売活動、イベントへの参加など高齢者・女性の活躍により、村のスローガンである「生涯現役・元気村」を体現。
- 米良糸巻大根は西米良村の伝統野菜であり、加工品ができたことで利用の幅が広がり、生産も拡大。
- 原材料の会員からの買取りや共同栽培で、農地の維持、農家の所得向上にも繋がっている。

【問合せ先】 西米良村農林振興課
宮崎県児湯郡西米良村大字村所15番地

Tel: 0983-36-1111 Fax: 0983-36-1207

さくごやむら
おがわ作小屋村運営協議会

令和の桃源郷 小さな村の大きな挑戦



新鮮な山菜を求め賑わう山菜まつり



食事提供施設

16皿の小皿が並ぶおがわ四季御膳

取組概要

- 当地区はH17年に高齢化率70%を超え集落消滅の危機にあった。地域住民と役場の二人三脚による作小屋村づくり事業をスタートさせ、H21年に協議会を設立し、拠点施設を整備・開業した。
- 毎年5月3日に「カリコボーズの山菜まつり」を行い、地元出身者や縁のある人が集う機会となっている。
- レストランおがわ作小屋村では、毎月その時期に採れる地域内の食材から小皿料理のメニューを検討し、工夫しており、毎月楽しみに訪れる方も多い。

活動成果

- 地域の魅力を磨き上げ発信していくことで、生きがいと誇りを与え、活力を生み出してきた。
- おがわ作小屋村の運営を通して、村外からの来訪者をもてなす気持ちや、交流する姿勢が磨かれてきた。それがU・Iターン者が地域の人たちと活動する機会の創出や移住者の増加にも繋がっている。
- 中秋の名月頃に月の明かりで楽しむ「月の神楽」を開催し、伝統文化の継承にも寄与している。

47 宮崎県 西米良村

鳥獣被害防止

ジビエ

雇用

ビジネス部門

めら 株式会社米良資源開発

山の恵み「西米良ジビエ」



ジビエ加工品



ジビエフェア 鹿肉の竜田揚げ



細切室での解体作業

取組概要

- 地区の活性化と雇用創出、捕獲促進による獣害の軽減が期待されるため、H26年にジビエ事業に取り組む。最新機材を導入し、処理時間を短縮。徹底した品質・衛生管理を実施。
- 県内外の加工業者と提携し、ジビエ加工品9種類を開発。今後、シカ肉のアヒージョなどを販売予定。
- 村と連携し、ジビエを村の地域活性化の中核に位置付け。H27年より毎年「にしめらジビエフェア」を開催。「西米良ジビエ」ブランド推進を行っている。

活動成果

- H30年に新たな施設を建設し、搬入個体をレールに吊るしたまま洗浄、処理、保存まで一連の流れでできるモデル的な設備で解体処理を行っている。
- 施設への視察者、観光客の購買による所得向上、地元住民や地域おこし協力隊の雇用を生み出し、さらに被害多発地区での捕獲が進み、被害軽減効果も見られる。
- H30年度に九州初、全国では4番目となる「国産ジビエ認定制度」を取得。

株式会社米良資源開発

宮崎県児湯郡西米良村大字上米良154番地5 Tel・Fax:0983-36-1560

コミュニティ部門

やきはた そばくらぶ
焼畑蕎麦苦楽部

山は友達・命の源 ～続けることが力～



取組概要

- H20年設立。様々な職種、年代で構成される12名で活動。究極の自然農法「焼畑」の継承のため、組織的な焼畑の取組や地元小学校の焼畑体験学習など各種普及活動を実施。
- 地元の桑の葉やよもぎを使ったお茶商品、雑穀を活用したクッキー等の加工品を開発。村内外の各種イベント等で販売。
- 体験・交流施設を開設し、焼畑やソバ打ち等の体験プログラムを提供。

活動成果

- 設立時に代表のみが行っていた「焼畑」は、熊本県水上村にまで広がった。椎葉村を含む高千穂郷・椎葉山地域の世界農業遺産認定の大きな評価要素となった。
- 商品販売額は右肩上がりとなっており、地元資源のPR及び経済効果の創出に繋がっている。
- 「海山交流植樹祭」や「農泊」(椎葉焼畑ツアーの開催等)、「鳥獣被害の防止」、「景観保全」など、幅広い取組を実施し、地域の活性化に大きく寄与している。

焼畑蕎麦苦楽部

宮崎県東臼杵郡椎葉村大字不土野843番地

<https://www.facebook.com/yakihatasaoba/>

Tel:0982-67-5516 Fax:0982-67-5516

鹿児島県

いずみ民泊体験推進協議会

豊かな自然と深い歴史の中の田舎暮らし体験



農家での夕食は、鹿児島の田舎料理



みかん収穫は出水の人気体験



農家向けのタブレット研修
高校生も協力

取組概要

- H23年から国内外の教育旅行生を農泊受入。行政・コーディネート機関・農家が連携し受入拡大。R1年の受入数は2千500人。
- H26年から、海外旅行商談会に参加。農泊・ツル・武家屋敷での着物茶道体験をセットでPR。台湾等の団体ツアーを農泊で受入。香港線のLCC就航に伴いFIT向けの申込フォーム立ち上げ。
- 留学生等による観光資源調査。受入農家はタブレット活用で多言語対応。

活動成果

- 滞在型のため、ツル観察センターや武家屋敷の外国人観光客も増加し、地域全体に経済効果が出てきている。
- 受入農家はタブレット・ポケトークを導入し、翻訳ソフトの活用により言葉の不安は和らいでいる。
- R1年のインバウンド農泊は484人。農泊を希望するFITが増加し、香港、台湾、中国、マレーシア、シンガポール、フランス、アメリカと受入国は拡大。

出水市シティセールス課観光交流係
鹿児島県出水市緑町1-3

<https://nohaku.net/council/council-955/>
Tel : 0996-63-4061 Fax : 0996-63-1331

いぶすきの農漁村力協働推進協議会

農魚山村資源の再発掘と「田舎力」の強化



収穫体験ツアー参加者に天然カマドで蒸したソラマメを提供



新種グリーンピース収穫体験ツアー



さつまいもペーストを
使ったアイスクャンデー

取組概要

- 農漁山村資源の再発掘による地域経済の向上と地域間のネットワーク強化による集落維持の仕組みづくりを行うため当協議会をH27年に設立。
- 指宿市が発祥の地である「さつまいも」を利用し、さつまいもペーストを使ったアイスクャンデー等を商品化。
- 農家版体験プログラム「キラ☆旅」の実施や鰻温泉のスメ蒸気を使った地元季節野菜とイモ料理提供など地域資源を核とした交流イベントを開催。

活動成果

- 「さつまいもアイスクャンデー」や当協議会主催のレシピコンテストで受賞した「2色ダンゴ」その他の商品開発を行うことで、これらの地元事業所での製造に結びついた。
- 体験プログラム「キラ☆旅」の実施により、1次産業従事者による3次産業への意識変革と地域全体への経済効果に繋がった。R1年度は、このイベントから発展した「極上体験プログラム」へ移行し、多言語版の制作に着手できた。

一般社団法人ヤクタネゴヨウ保全の会

希少種ヤクタネゴヨウと松を保全しその伝統と文化を広げる



伊関小学校太田へゴ自生野外授業



太田里山体験ツアー

取組概要

- 松の島・種子島の希少種「ヤクタネゴヨウ」と松を保全し、その伝統と文化を広げるために、H4に設立（H28年法人化）し、調査・採種・保全活動を続けている。
- 市内の小中学校で野外体験学習として、ヤクタネゴヨウの学習を実施。また、採種育苗した苗を小中学校や公園に移植している。
- 森を守り森と共に生きる村作りとグリーンツーリズムの連携を進めている。インバウンドのために在島外国人とモデルツアーを実施。

活動成果

- H27～30まで、毎年約10個の採種・育苗を行ってきた。また、H29年には松50本、H30にヤクタネゴヨウ20本、R1には地杉苗120本を移植している。
- 松枯れ病対策として、毎年樹幹注入を行い、また、枯松伐倒除去は毎年300本以上行っている。
- 里山保全活動として、へゴ自生群落や多品種杉の間伐除伐、遊歩道整備による自然体験型ツーリズムと村人の参加による希少種調査や薬草作り等々多様な活動を推進。

一般社団法人ヤクタネゴヨウ保全の会
鹿児島県西之表市西之表9689番地

Tel : 090-1437-6700 Fax : 0997-28-0240

おき はまだ
種子島沖ヶ浜田黒糖生産協同組合

種子島の登窯伝統製法の黒糖を世界に紹介



搾汁液を登窯舟形鉄平鍋で煮詰めていく



鉄ローラで圧搾

取組概要

- H30年、100年以上続けられてきた伝統製法による黒糖製造が廃業に危機を迎えたのをきっかけとし、協同組合を法人化して設立。現在5件の地元農家と、3名の移住者で構成。
- 継承発展を目指して、新規就農者を一旦組合で雇用し、生活安定の上で自立農家として育成していく。
- 味のレベル向上と品質管理を徹底するために研修を実施。沖縄農業試験所や国の農研機構に学び、HACCP取得を目指している。

活動成果

- 移住者の若者を新規雇用し、黒糖用の栽培技術と伝統の登窯三段舟形鉄平鍋による技術を継承発展させるため、この3年間で正規雇用を1名、臨時雇用を4名採用した。
- 販売では日本橋三越本店、鹿児島山形屋、東京都庁種子島フェア等に出店し、店頭販売を実施。初年度より3倍の売上げとなった。
- 有機栽培で安定生産となるように取組み、組合員の4反歩を有機圃場としての認証を目指している。

種子島沖ヶ浜田黒糖生産協同組合
鹿児島県西之表市伊関1115番地

<https://okigahamada.com/>
Tel・Fax : 0997-28-0240

コミュニティ部門

はなだ
花田地区水土里クラブ

みんなで守ろう花田地区



伝統行事「餅ひっぱれ」の様子



景観形成活動の様子

みんなで守ろう花田地区

鹿児島県日置市花田地区水土里クラブ。高齢者や子どもが参加しています。
 平成24年4月1日 事務局（日置市） 花田地区水土里クラブ 事務局（日置市）
 〒899-296-0001 鹿児島県日置市吹上町田尻250番地
 TEL 099-273-8873



「花田みどり券」

取組概要

- H24に花田地区水土里クラブを設立したことをきっかけに地域通貨券を発行。非農家を巻き込んだ取り組みを行うことで問題解決を図った。
- 農地の一部を借り受け「花田農園」を開設。小学校と連携し、作物の植え付けや管理、収穫体験を実施している。
- 五穀豊穰を祈り、子供たちがつきたての餅を引っ張りあう伝統行事「餅ひっぱれ」は一時途絶えていたが、組織設立を機に復活させ、農村文化を伝承している。

活動成果

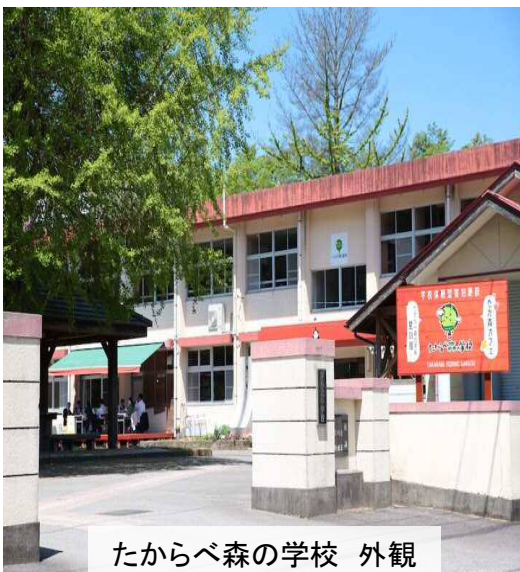
- 活動開始当初の参加人数は990人だったが、地域通貨券の導入で年々参加者が増加し、昨年には約1,800人が参加。参加者の半数以上が非農家で、地域共同活動への参加意識が向上している。
- 参加者に配布される地域通貨券は、花田地区内の商店のみで利用することができ、地域の活性化が図られている。また、閉店を考えていた商店の存続にもつながっている。
- 「花田農園」を通じ、子供たちは作物を育てる工夫や成長過程を学んでいる。

花田地区水土里クラブ

鹿児島県日置市吹上町田尻250番地 Tel : 099-273-8873 Fax : 099-273-8877

たからべ森の学校

「学校はみんなのもの」
-元中学校を利用した民間企業による地域活性化事業-



たからべ森の学校 外観



子どもサバイバルキャンプ

古き良きニッポン体験：
五右衛門風呂

元職員室を改修した たか森カフェ

取組概要

- 平成25年に、旧財部北中学校において再就職を目的とした国の離職者向け公共職業訓練施設「農業人材育成科」を開校。
- 平成27年に、曾於市と一緒に地方創生事業として、「学校恋活」や、「曾於ライフ魅力アップ事業」などを企画・運営。「親子で地域の伝統行事に参加しよう」、「子どもサバイバルキャンプ」など、学校を舞台にアナログ体験を基本としたイベント・ツアーを提供。
- 平成30年に、学校体験型宿泊施設「たからべ森の学校 星の宿」をオープンした。

活動成果

- 平成27年イベント・ツアーの提供、平成28年カフェをオープンして以降、売上げ、来客者数は右肩上がりに伸びている。
- 元中学校を活用した森の学校が、アナログな体験を通して、人と人との触れ合いや感動体験を提供している。
- 令和元年にジビエ商品開発を目的として設立された「合同会社財の森」で加工された商品は、令和2年度より「たか森カフェ」や、曾於市ふるさと納税、郵便局ふるさと小包の商品として、販売が開始されている。

たからべ森の学校 <https://t-morinogakkou.jp/>

鹿児島県曾於市財部町北俣5410-1 Tel : 0986-28-6120 Fax : 0986-28-6121

特定非営利活動法人 風と土の学び舎

地域を耕し、地元の人と若者が協働する町へ



地引網体験プログラム



移住者と地元の人で
一緒に交流拠点づくり

大学での農産物販売の様子

取組概要

- H7年、一人の学生が農業研修先として南大隅町を訪れたことがきっかけとなり地元農家による都市部学生の農村研修受入れを25年取り組んでいる。
- 移住者の一人が中心となって、地域の人と協力して古民家を改修中。今後、この施設を拠点にして、宿泊をはじめ、郷土料理体験や地引網体験等の農村体験プログラムを展開する。
- 地域の魅力を再発見・発信する地域情報誌「かぜつち」を創刊。移住者が編集長となっている。

活動成果

- 学生の受入は、毎年15～25名、だったが、R1年は43名となり、累計592名を受入れ、4名の方が20代で移住した。
- 平成30年度より、長年受入れている学生の大学祭で、受入農家の農産物を販売し、売上げは3日間で50万から120万円に増加している。
- 長年の実績が評価され、南大隅町と東京農業大学が地域包括連携協定を締結。学生と地元農家が双方向に交流し、学びあうことで持続可能な活動となっている。

56 鹿児島県 肝付町

6次産業化

輸出

農福連携

ビジネス部門

むらしょう

村商株式会社

地域の絆と食の架け橋を世界へ



経営者クラブによる経営ノウハウの伝承



ごちそうビーフ新商品開発



福祉施設利用者による軽作業

取組概要

- H19年に飼育頭数16頭の和牛一貫経営を起業。畜舎環境、餌、水など「こだわりの牛づくり」を追求。直営の生肉店・焼肉店を併設し、黒毛和牛をリーズナブルに提供。
- 地域農家と連携し、地域活性化の取組や経営ノウハウの伝承を行うために、積極的な牧場の視察と講和への参加を行っている。
- 農福連携として、地元福祉施設との連携による軽作業のサポートを契約。

活動成果

- 飼養頭数を着実に拡大し、R1年度は1,200頭。売上高は14億3千万円、肝付町などの店舗への来場者数は年間約8万6千人。台湾へも輸出しており、R1年度の実績は約5千3百万円。
- 労働負担軽減と経営効率化のため、ICT機器を導入。効率的で働きやすい職場環境を構築。
- 独自の輸出ルートを確立できたことで輸出コストが削減され、高品質で安価な価格帯を実現。

村商株式会社

鹿児島県肝付郡肝付町622-1

<https://www.shinmurachikusan.com/murasho/>

Tel: 0994-45-5098

Fax: 0994-45-5095

せがわ ちか
瀬川 知香氏

農業・宿泊業・観光業 田舎の暮らしを体感できる暮らし旅行社。



農業体験プログラム:「畑旅」



1日1組限定の古民家宿



特産品開発(スイートコーン茶)

取組概要

- 旅行会社、観光協会勤務を経て4年前に穎娃町へ移住。NPO法人に所属し、農風景を活かし、畑を農家がアテンドする「畑旅(はたたび)」を実施。
- 農家と連携して体験ツアーの開催や農産物を活用した特産品開発に取り組んでいる。
- 空家だった古民家を改装し、1日1組限定の貸切宿(「暮らしの宿 福のや、」)の経営に着手。宿は素泊まりで、食事や観光は町内の他の事業者を案内。

活動成果

- メディアの受付窓口となる行政との密な関係性を構築し、既存施設・新規施設や小規模な取組まで丁寧に発信してもらい、何度も顧客獲得に繋がった。
- 貸切宿の利用により、1泊2日で町内を巡り、様々な住民と交流することで地域への愛着が増し、リピート客が増加。
- 安価に滞在できる拠点ができ、観光客や移住希望者が宿に滞在しながら地元の方と親睦を深めることができるようになり、移住者も出てきた。

瀬川知香氏
鹿児島県南九州市穎娃町郡1554-1<https://www.fukunoya-ei.com/>
Tel : - Fax : -

(参考)これまでの「ディスカバー農山漁村の宝」選定地区一覧

全国選定地区

回(年度)	県	市町村	団体名	キャッチフレーズ
第1回 (H26)	長崎県	雲仙市	農事組合法人守山女性部加工組合	伝統野菜「雲仙こぶ高菜」で地域おこし
	長崎県	壱岐市	『島のめぐみ観光農園』プロジェクトチーム	壱岐の島が元気になれば、日本が世界が元気になる！
	宮崎県	高原町	農事組合法人はなどう	麦を中心とした6次産業化にパワー全開
第2回 (H27)	熊本県	玉名市	小岱山薬草の会	薬草食べて元気な町に
	鹿児島県	南大隅町	社会福祉法人 白鳩会	農福連携で過疎化になやむ地域おこしを！
第3回 (H28)	福岡県	久留米市	城島町土地改良区	蘇る酒どころ城島、豊かな環境を次世代へ繋ぐ
	大分県	宇佐市	NPO法人安心院町グリーンツーリズム研究会	グリーンツーリズムの発祥の地「安心院町」
	宮崎県	高千穂町	高千穂ムラたび協議会 ★プロデュース賞	限界集落が挑戦する未来のムラづくり
第4回 (H29)	福岡県	八女市	八女地域連携協議会	旅する茶のくに～地域を活かした交流事業～
	佐賀県	多久市	ひらの棚田米振興協議会	孔子の流れは棚田に注ぐ賢い子供の棚田米
	熊本県	阿蘇市	NPO法人ASO田園空間博物館 ★グランプリ	田園空間博物館の理念で地域おこしと復興を
第5回 (H30)	福岡県	太宰府市	福岡県立福岡農業高等学校 食品科学科梅研究班	地域の縁を繋ぐ「太宰府梅サイダー」
	大分県	豊後大野市	株式会社 成美	地域資源と女性愛で「美味しい笑顔」を創る
	大分県	国東市	ウーマンメイク株式会社 ★アクティブ賞	女性が輝く！女性だけの農業法人
	宮崎県	串間市	株式会社 くしまアオイファーム	小芋で世界へ～強い農業はこえていく～
第6回 (R1)	佐賀県	伊万里市	すみやま棚田守る会	すみやま棚田米が世界へ！
	長崎県	大村市	有限会社シュシュ	年間50万人が訪れる農業テーマパーク
	宮崎県	五ヶ瀬町	特定非営利活動法人五ヶ瀬自然学校	進化した複合型農林業システムで地域づくり
	鹿児島県	南さつま市	株式会社 南風ベジファーム	6次産業化＋福祉で地方の問題を解決
第7回 (R2)	福岡県	糸島市	株式会社いとしのいとしま	地魚BANKでうまい魚をこれからもずっと！
	熊本県	人吉市	郷土の家庭料理 ひまわり亭	“食”でまちづくり・人づくり・元気づくり!!

※各団体の取組概要は以下の農林水産省HPの「選定地区紹介」を参照

→ <https://www.discovermuranotakara.com/>

九州農政局選定地区

年度	県	市町村	団体名	キャッチフレーズ
H28	福岡県	八女市	八女地域連携協議会	旅する茶のくに～地域を活かした交流事業～
	佐賀県	多久市	社会福祉法人もやいの会	障がい者の働きたいをカタチに～トマト工場
	長崎県	大村市	有限会社シュシュ	農業エンターテインメント！日本一の直売所
	長崎県	南島原市	一般社団法人南島原ひまわり観光協会	第二の故郷・南島原を目指して
	熊本県	八代市	やつしろ菜の花ファーム987	日本文化い草(畳)と菜の花プロジェクト
	大分県	宇佐市	株式会社生活工房とうがらし	生活工房とうがらしから伝える大分の食
	宮崎県	五ヶ瀬町	特定非営利活動法人五ヶ瀬自然学校	日本一の清流五ヶ瀬川上流で行う持続可能な村づくり
	鹿児島県	南さつま市	特定非営利活動法人エコ・リンク・アソシエーション	アートプロジェクトと農家民泊事業ならおまかせ
H29	福岡県	八女市	がんばりよるよ星野村	都市との協働で災害復旧から地域復興へ！
	佐賀県	佐賀市	農家民宿 具座	本当の田舎三瀬 ここから世界へ！
	長崎県	平戸市	根獅子(ねしこ)集落機能再編協議会	根獅子発！小さな集落の小さな循環型プロジェクト
	長崎県	対馬市	対馬グリーン・ブルーツーリズム協会	暮らしの原点を見つめ直す旅
	熊本県	熊本市	くまもとジビエ研究会	地域の”やっかいもの”を”美味しいもの”へ！
	大分県	杵築市	The Japan Travel Company株式会社	インバウンド観光で田舎の継続的な社会を創出
	大分県	国東市	くにさき七島蘭振興会	貧乏草から長者草、埋もれた宝が地域を変える
	宮崎県	都城市	農事組合法人きらり農場高木生活部加工班	”キラリ”と輝く大地の恵み
	鹿児島県	出水市	いずみ民泊体験推進協議会	観光と連携し、田舎にインバウンドの風を
	鹿児島県	南さつま市	株式会社南風ベジファーム	6産業化+福祉で地方の問題を解決！
H30	福岡県	筑紫野市	株式会社ちくしの農園	アジアの人が集うストロベリーフィールズ
	福岡県	筑紫野市	特定非営利活動法人よか隊	農業・環境・福祉を繋いだ生命循環システム
	福岡県	みやま市	伍位軒集落協定	集落みんなで守る！中山間地域とみかんの里
	佐賀県	佐賀市	有限会社西山田農園	地域資源を活用！農業のテーマパークづくり
	佐賀県	伊万里市	すみやま棚田守る会	地元企業との連携で棚田が元気に！
	佐賀県	みやき町	山田のひまわり園	秋に咲くひまわりで農村を元気に！
	長崎県	島原市	株式会社トノウ	農家と移住者で農業の新しい形を創る！
	熊本県	宇城市ほか	くまもと☆農家ハンター	地域と畑は自分達で守る！若手農家の猪対策
	熊本県	上天草市	上天草物産館さんばーる出荷協議会	地域の宝(食材)で元気と笑顔を!!
	熊本県	菊陽町	株式会社熊本玄米研究所	農村に黄金の実りを！米の消費拡大を応援
	熊本県	水上村	湯山温泉旅館組合	ジビエがアスリートを強くする！
	大分県	宇佐市	株式会社ドリームファーマーズJAPAN	4H活動が生んだ6次産業と地域おこし物語
	大分県	宇佐市	三和酒類株式会社安心院葡萄酒工房	安心院ワインで乾杯～ワインが紡ぐ～
	大分県	豊後大野市	農事組合法人芦刈農産	甘藷で躍進する集落営農組織
	宮崎県	日南市	酒谷むらおこし株式会社(道の駅酒谷)	小さな村の大きな挑戦！酒谷の宝ここにあり
	鹿児島県	屋久島町	屋久島@深山園	自然との共生の農業
	鹿児島県	和泊町	沖永良部さきのこ株式会社	小さな離島でも6次産業化の芽吹きを！
R1	佐賀県	伊万里市	NPO法人伊万里はちがめプラン	生ごみを宝に持続可能な地域社会を目指して
	長崎県	松浦市	一般社団法人まつら党交流公社	松浦党の里 ほんなもん体験
	長崎県	西海市	特定非営利活動法人雪浦あんぱんね	世界と繋がるゆきのうら
	熊本県	菊池市	熊本県立菊池農業高校グリーンライフ研究班	農業高校生が興す！田舎の萬屋プロジェクト
	熊本県	芦北町	芦北地域林業研究グループ	先人が守り育てた山林を未来に受け継ぐ
	熊本県	湯前町	幸野溝土地改良区	世界かんがい施設遺産の里で学ぶ！
	大分県	大分市	国東半島宇佐地域世界農業遺産推進協議会	次世代につなげよう！世界農業遺産の輪
	大分県	豊後大野市	有限会社清川ふるさと物産館夢市場	地域が残れば「道の駅」も残る！！
	鹿児島県	南さつま市	有限会社 清木場果樹園	完熟きんかん等を使った加工品の開発の取組
	鹿児島県	肝付町	村商株式会社	全ての人へ感謝をエネルギーに！
R2	福岡県	筑前町	株式会社筑前町ファーマーズマーケットみなみの里	食で筑前町を発信！&食べて応援！
	佐賀県	佐賀市	池田 大志氏	地域資源を活かし農業を「農産業」へ
	長崎県	諫早市	長崎県立諫早農業高等学校食品科学部	長崎県農産物を用いた地域活性プロジェクト
	熊本県	山都町	蘇陽農場	女性が創る農福連携！多様な雇用で笑顔一杯
	大分県	宇佐市	深見地区まちづくり協議会	地域の未来 地域で考え、地域で行動
	宮崎県	椎葉村	焼畑蕎麦苦楽部	山は友達・命の源 ～続けることが力～
鹿児島県	南九州市	瀬川 知香氏	農業・宿泊業・観光業 田舎の暮らしを体感できる暮らし旅行社。	

※九州農政局選定はH28年度より実施。各団体の取組概要は以下の九州農政局HP(各年度の「農山漁村活性化事例集」)参照。

H28年度 http://www.maff.go.jp/kyusyu/keikaku/discover/kaseika_jireishu.html

H29年度 http://www.maff.go.jp/kyusyu/keikaku/discover/29kaseika_jireishu.html

H30年度 http://www.maff.go.jp/kyusyu/keikaku/discover/30kaseika_jireishu.html

R1年度 <https://www.maff.go.jp/kyusyu/keikaku/discover/R1jireisyuu.html>

R2年度 <https://www.maff.go.jp/kyusyu/keikaku/discover/R2jireisyuu.html>